

石田組 コンサートツアー2026 仙台

クラシック界の台風の目、石田泰尚。
石田組が巻き起こす熱狂の渦、今年も仙台へ上陸。

石田組

双紙

ヴァイオリン
石田泰尚
塩田脩
伊東翔太
双紙正哉
三原久遠
降旗貴雄

ヴィオラ
木下雄介
萩谷金太郎
鈴村大樹
チェロ
西谷牧人
弘田徹
松尾美弦

コントラバス
米長幸一

ヴァイオリン 石田泰尚

© Norizumi Kitada Universal Music

2026 9.16 [水] 19:00開演(18:15開場)

東京エレクトロンホール宮城 大ホール

仙台市青葉区国分町3丁目3-7

入場料
(全席指定、税込)

S席¥6,600 A席¥5,500

学生席(U-25対象)¥2,500 ※学生席は河北チケットセンターのみ扱い。
公演当日25歳以下の学生が対象。公演当日、学生証等要提示。
※車いす席ご希望の場合は河北チケットセンターまでご連絡ください。
チケット一般発売日：2026年6月19日(金) ※未就学児入場不可。

プレイガイド

●河北チケットセンター 022-211-1189(平日10:00~14:00)
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード329-544) ●藤崎
●イープラス <https://eplus.jp/> ●東京エレクトロンホール宮城

お問合せ

河北新報社事業部 022-211-1332(平日10:00~17:00)
仙台放送事業部 022-268-2174(平日11:00~16:00)

曲目 ※曲目は変更になる場合がございます。

モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.136

チャイコフスキー：弦楽セレナーデ ハ長調 op.48

ウォーロック：カプリオール組曲

久石譲(松岡あさひ編曲)：人生のメリーゴーランド

ヴァンゲリス(松岡あさひ編曲)：炎のランナー

ピアソラ(松岡あさひ編曲)：アディオス・ノニーノ

ピアソラ(近藤和明編曲)：ビジュージャ

ディーブ・パープル(近藤和明編曲)：スピード・キング

ディーブ・パープル(松岡あさひ編曲)：スモーク・オン・ザ・ウォーター

[注意事項] やむを得ない事情により、出演者・曲目が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの変更・キャンセルはお受けできません。

石田組

The Ishidagumi String Ensemble

ヴァイオリニスト石田泰尚の呼びかけにより2014年に結成された弦楽合奏団。プログラムによって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、メンバーは“石田組長”が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに“組員”が召集される。レパートリーはバロック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで幅広く各々のスタイルをぶつけ合いながら織り成す演奏スタイルは弦楽アンサンブルの新しい世界を切り拓く存在として各方面から注目されている。単独公演のみならずSUGIZO、鈴木愛理らとのジャンルを越えたコラボレーションや組員自ら指導に当たる教育プログラムの実施など活動は多岐にわたる。2018年にNHK-FM「ベストオブクラシック」及びNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」で紹介されその熱いステージの模様が大きな反響を呼び、2019年にEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2022年より毎年30公演以上の全国ツアーを行い結成10周年を迎えた2024年にはNHK「あさイチ」に出演、弦楽アンサンブルでは異例となる日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。最新アルバムは2025年12月にリリースされた「石田組2025・冬」。

2026年10月11日には大阪城ホールでの公演が予定されている。仙台公演は2023年から4年連続の開催となり、過去3回は全席完売している。

©Norizumi Kitada Universal Music

石田 泰尚 Yasunao Ishida (Vn)

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川県フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの模様が大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロコンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。ミュゼ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を2022年から隔年で開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー inレジデンス」第3代プロデューサーに就任。2025年12月より川崎市市民文化大使に就任。2026年10月11日には石田組で大阪城ホール公演が予定されている。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

仙台公演 組員



塩田脩 (Vn)



伊東翔太 (Vn)



双紙正哉 (Vn)



三原久遠 (Vn)



降旗貴雄 (Vn)



木下雄介 (Va)



萩谷金太郎 (Va)



鈴木大樹 (Va)



西谷牧人 (Vc)



弘田徹 (Vc)



松尾美弦 (Vc)



米長幸一 (Cb)

©木下雄介